

## ミスミグループ本社 2021年3月期 第3四半期 連結業績

～新型コロナ禍継続の中、景況はグローバルで回復傾向も、先行きは不透明  
持続的成長への投資と経費削減の徹底を継続～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2021年3月期 第3四半期累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減率
売上高	235,786	<b>223,014</b>	-5.4%
のれん等償却前 営業利益 ※	18,564	<b>17,975</b>	-3.2%
営業利益	18,109	<b>17,533</b>	-3.2%
純利益	12,919	<b>12,183</b>	-5.7%
1株当たり純利益	45.54円	<b>42.91円</b>	

※ Dayton Lamina Corporation 買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

### <2021年3月期第3四半期累計期間の連結業績ハイライト>

#### 1. 中国など海外売上がけん引し回復基調も、上期の需要減少が累計業績に影響

- 当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大や米中貿易摩擦の影響が続くものの、20年10月-12月期は中国の経済回復が継続していることに加え、米州・欧州・アジアの景況も持ち直し始め、製造業の設備投資、稼働も緩やかな回復基調となりました。日本においては半導体関連など一部の産業に回復が見られたものの、本格的な設備投資需要の回復には至りませんでした。今後も、新型コロナウイルス感染症の影響により、グローバル製造業の景況は先行き不透明な状況が続くと懸念されます。
- こうした環境の中においても、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで世界の製造業に貢献しています。新型コロナウイルスの影響が続いている中、これまで当社が築いてきたIT、物流、製造の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用し、世界の顧客に対して安定供給を継続し短納期ニーズに対応しました。第3四半期累計は、グローバルで景況は回復基調にあるものの、上期に製造業の設備投資が低迷した影響により、売上高、利益ともに前年比減少となりました。
- この結果、連結売上高は2,230億1千4百万円、前年同期比5.4%減（現地通貨ベース4.2%減）となりました。利益面につきましては、売上減少の影響が大きいものの、コスト削減を徹底した結果、営業利益は175億3千3百万円（前年同期比3.2%減）、経常利益は174億5千9百万円（前年同期比1.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は121億8千3百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

## 2. 5G、2次電池等の需要でFAは前年並みまで回復、他事業は累計でマイナス成長

- 2021年3月期第3四半期累計期間のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	74,560	<b>74,055</b>	-0.7%	+0.4%
金型部品事業	55,408	<b>48,520</b>	-12.4%	-10.4%
VONA事業	105,818	<b>100,438</b>	-5.1%	-4.2%
合計	235,786	<b>223,014</b>	-5.4%	-4.2%

- FA事業は、中国が好調に推移していることに加え、海外は各地域とも回復傾向となり、日本の低迷を補って現通ベースではほぼ前年並みを確保しました。
- 金型部品事業は、自動車関連業界で持ち直しが見られましたが、上期不振の影響が大きく、前年同期比12.4%の減収となりました。
- VONA事業は、中国に加え、欧州・米州も好調に推移していますが、日本のマイナス成長が続き、前年同期比5.1%の減収となりました。

## 3. 中国は堅調に推移、他地域のマイナス幅も減少し海外売上は増収を確保

- 2021年3月期第3四半期累計期間の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	125,329	<b>110,768</b>	-11.6%	-
海外	110,457	<b>112,246</b>	+1.6%	+4.2%
中国	39,620	<b>46,633</b>	+17.7%	+20.1%
アジア	33,689	<b>30,732</b>	-8.8%	-5.6%
アメリカ	20,954	<b>19,662</b>	-6.2%	-3.3%
ヨーロッパ	11,977	<b>11,599</b>	-3.2%	-3.7%
その他	4,215	<b>3,618</b>	-14.2%	-6.8%

- 日本では製造業の設備投資の一部に持ち直しが見られますが、総じて弱含みで推移し、前年同期比11.6%の減収となりました。
- 海外では中国の好調が継続するとともに、他地域も回復傾向となり、前年同期比1.6%の増収となりました。

#### 4. 2021年3月期連結業績予想は変更なし

- 2021年3月期の通期連結業績予想については、2020年7月30日公表の前回予想からの変更はありません。

2021年3月期 連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想	300,000	20,900	20,500	14,900	52.48
前期実績	313,337	23,640	23,245	16,504	58.18
増減率(%)	-4.3%	-11.6%	-11.8%	-9.7%	—

#### [業績予想に関する留意事項]

この資料に掲載されている2021年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2021年3月期第3四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ  
株式会社ミスミグループ本社  
コーポレート・リレーション室 IR・SR チーム  
Tel: 03-5805-7037 Fax: 03-5805-7014  
mail: cc@misumi.co.jp